

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
①団体名	美濃加茂市
②事業名	新庁舎整備事業
③本事業の現在の検討ステージ	以下の中から本案件の検討ステージを選択してください。 1.事業発案 2.事業化検討 3.事業者選定 4.その他 ()
④サウンディングの目的	<p>○本事業は美濃加茂市の新庁舎を整備する事業です。整備にあたっては庁舎機能にコンベンション機能や商業施設機能を含む複合的な建物として整備する計画です。</p> <p>○整備計画地は美濃太田駅周辺を見込んでいます。現在の駅南口にある美濃加茂市商業ビルの解体再整備を見込んでおり、同ビルにあるシティホテル美濃加茂のコンベンション機能を継続して展開したいと考えています。</p> <p>○美濃太田駅は、JR 高山本線・太多線、長良川鉄道などが乗り入れし、美濃加茂市コミュニティバス「あい愛バス」の結節点にもなっており、公共交通の要であります。</p> <p>○よって美濃太田駅周辺に整備する新庁舎（複合施設）をきっかけに、まちに賑わいを創出したいと考えています。</p> <p>○また、市では「Walkable City Minokamo」を第6次総合計画の基本コンセプトに掲げ、国土交通省のウォークブル推進都市にもエントリーし、歩き続けられるまちづくりを進めています。</p> <p>○市では、平成28年度に美濃加茂市公共施設等総合管理計画を定めました。その後、平成29年度には、新しい市役所をいかしたまちづくりについて掲げる「美濃加茂市新庁舎整備基本構想」を策定しました。</p> <p>○現在は、美濃加茂市新庁舎整備計画の策定中です。（令和元年度末に策定予定）来年度以降、具体的な事業手法等を計画していく予定です。</p> <p>○上記の観点から、民間事業者が有する柔軟なアイデアを取り入れたいと考え、サウンディングを実施するものです。</p>

③土地利用上の制約	商業地域・準防火地域・市街地再開発事業区域・高度利用地区 建蔽率・容積率：80%/500%	
④所有者	市（一部民有地有）	
⑤周辺施設等	1km 圏内に、美濃太田駅・現市役所・図書館・体育館・病院・銀行等公共施設多数あり	
⑥対象地周辺の一般的なイメージ	美濃太田駅前市街地区域。現在は美濃加茂市商業ビル（シティホテル美濃加茂）が建つ駅前市街地。	
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	美濃加茂市人口：約 57,000 人（現在も増加中） 外国人人口：約 5,000 人（人口比率は全国市で 1 位） 美濃太田駅乗客数：約 120 万人/年（JR+長鉄） 美濃太田駅は市コミュニティバス「あい愛バス」（乗降客数：約 85,000 人/年）の結節点として機能。その他東濃鉄道バスも有。高校生等の利用も多く、近年は近郊大学の学生送迎バスのアクセスポイントとして美濃太田駅が活用されている。	
(3)対象施設		
4-1. 建物	既存	整備後(予定)
①施設名称	美濃加茂市役所	〇〇〇〇（愛称） 美濃加茂市役所
②施設の延床面積	計 7, 126㎡ （うち、再整備を見込む本庁舎本館 3, 494㎡、同西館 1, 671㎡。分庁舎 1, 959㎡）	計 10, 000㎡（見込み） （うち庁舎機能 7, 000㎡ コンベンション機能・商業機能 3, 000㎡）
③建物の構成（構造、階数）	本庁舎本館：RC、3 階 本庁舎西館：RC、5 階 分庁舎：S、4 階	最大 6 階 構造規定なし
④主な施設の内容、導入機能	庁舎機能	庁舎機能、コンベンション機能、商業機能
⑤運営状況 （運営主体、事業手法等）	市	既定なし
⑥その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	生涯学習センター・文化の森・プラザちゅうたいにも各課を配置	職員数（臨時含む）450 人以上のうち、新庁舎では 370 人の勤務を想定 左記分庁舎は土木系庁舎として残置予定。生涯学習センター等も現存通り活用する分散型市役所配置を想定
4-2. インフラ系 （上下水道、道路等）	既存	整備後(予定)
①施設名称		

②規模、能力 等		
③運営状況 (運営主体、事業手法等)		
④その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		

■ 参考資料

- 美濃加茂市新庁舎整備情報 <http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050> にて公開中
- 美濃加茂未来のコンセプトブック
http://www.city.minokamo.gifu.jp/temp2/hp/123/20160909162619/concept_book.pdf